8-1 グリース・オイルシール・Oリング

- 全機種グリース潤滑を採用しており、工場出荷時には規定量のグリースが封入してありますので、
  そのままご使用できます。
- 交換、補給はほとんどの場合不要ですが、10000時間を目安に交換していただければ、
  製品をより一層長持ちさせることができます。ただし、交換は当社工場での修理となります。
- オイルシールやOリング等でグリース漏れ防止を施してありますが、万一に備えて油受け等での保護をお願いします。
  油漏れで製品等が不良になるおそれがあります。（故障時やライフエンドに於いて、グリースの漏れる場合があります。）
- オイルシールは、使用条件により寿命時間が変化しますので、
  10000時間以内でも交換の必要が生じることがあります。ただし、交換は当社工場での修理となります。

【重要】お客様にて保守・点検を目的としてグリース・オイルシール・Oリングの交換が必要な場合は、
本取扱説明書に記載の最寄りの当社営業所もしくはCSセンターお客様技術相談デスクに
お問い合わせください。ただし、お客様での交換に起因する不具合は当社保証範囲外となります。ご了承ください。

8-2 日常点検

2～3日ごとに点検してください。

点検項目	方法	点検内容
負荷電流	電流計	銘板記載の定格電流以内であること
騒音	聴感	異常音（ガタゴト音、周期音）がないこと ※軸受部に聴音棒を当てて異常音を確認する
振動	触感	ギアケース、モータフレームの異常振動がないこと
表面温度	温度計	日常の温度よりも急激に上がったり下がったりしていないこと
グリース漏れ	目視	ケース、オイルシール、ブラケット等の接合部から漏れていないこと

8-3 定期点検

8時間/日運転を想定します。

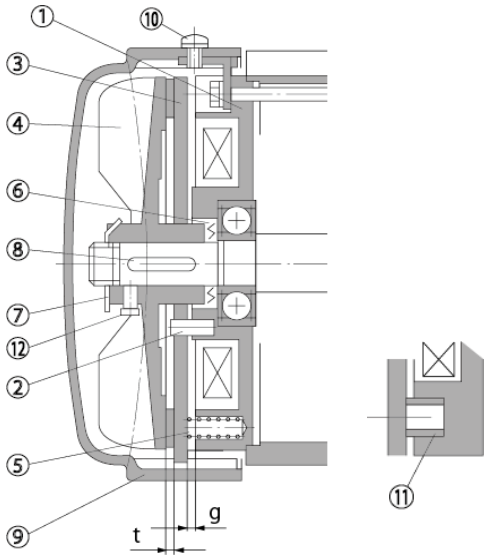
点検項目		点検目安	点検内容
据え付けボルト		半年	スパナでゆるみ確認 ゆるんでいた場合は増し締めしてください
チェーン及びVベルト		半年	張り具合の確認 ゆるみすぎ、張りすぎの場合は調整してください
モータの絶縁抵抗		半年	絶縁抵抗計で測定 測定電圧500Vの時、1MΩ以上であること
ブレーキ	ギャップ量	1年または ブレーキ使用回数 100～150万回	適正ギャップ範囲内であるか確認 調整は「8-4-4 ブレーキギャップの調整手順」を参照して行ってください
	摩擦板の厚さ	1年	摩擦板の厚さを確認 1.5mm以下の時は交換又は当社工場で修理してください

【重要】異常が認められた場合は、「 9 故障の原因と対策 」をご参照の上、対策処置を行ってください。

8-4 ブレーキギャップの調整

ブレーキを長時間使用いたしますと、摩擦板が摩耗しギャップ〔g〕が徐々に大きくなります。
ギャップ〔g〕が吸引可能ギャップより広がりますと、マグネットを励磁してもアーマチュアの吸引が困難となり
ブレーキの解放ができなくなります。
その後も使用し続けますと、ブレーキが効いたままモータを回すことになりますので、
ブレーキやモータの異常発熱を起こしブレーキ付ギアモータの機能を低下させます。
本機を安全に使用していただくために定期的(約１年毎又はブレーキ使用回数100～150万回毎)にギャップの点検又は
調整を行ってください。

8-4-1 ブレーキ構造



図番	部品名称
①	フィールド付ブラケット
②	スプリングピン
③	アーマチュア
④	ファン組 (ファン・摩擦板が一体構造)
⑤	スプリング1
⑥	スプリング2
⑦	キクナット
⑧	キー
⑨	ファンカバー
⑩	ファンカバー固定ネジ ● モータ容量 0.1kW～0.4kW：十字穴付なべ小ねじ M5
⑪	ブッシュ
⑫	ファン固定ネジ ● モータ容量 0.1kW,0.2kW：十字穴付六角ボルト M5 ● モータ容量 0.4kW：六角穴付きボルト M5

g：ギャップ
t：摩擦板の厚さ

8-4-2 ブレーキ仕様

モータ容量 [kW]	ブレーキ電源		静摩擦トルク [N･m]	吸引可能ギャップ [mm]	適正ギャップ [mm]
	AC電圧[V]	DC電圧[V]			
0.1	100 (200)	90 (90)	0.98	g：2.3以下	g：1.9±0.1
0.2			1.96	g：2.3以下	g：1.9±0.1
0.4			3.92	g：2.4以下	g：2.0±0.1

【参考】AC電圧からDC電圧への変換は付属の整流器をお使いください。

8-4-3 ブレーキギャップの確認手順

【注意】必ず電源を切って行ってください。感電、けがの恐れがあります。

1 ⑩ファンカバー固定ネジをゆるめて、⑨ファンカバーを取り外す。
2 ギャップ〔g〕が適正ギャップ範囲内であるかスキミゲージなどで確認する。

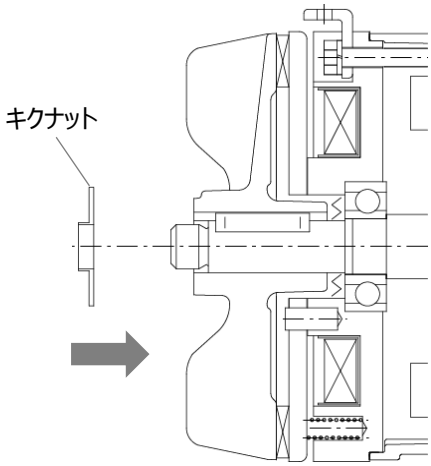
【重要】適正ギャップ範囲内でない場合、ブレーキギャップの調整を行ってください。

8-4-4 ブレーキギャップの調整手順

【注意】必ず電源を切って行ってください。感電、けがの恐れがあります。

1 ⑩ファンカバー固定ネジをゆるめて、⑨ファンカバーを取り外す。
2 ⑫ファン固定ネジをゆるめて、⑦キクナットの折れ曲がり部を④ファン組の溝から起こす。
3 ⑦キクナットを軽くロックするまで締め込む。
4 ⑦キクナットを100°～180°くらいゆるめる。
【重要】キクナットを外してしまった場合、取付方向にご注意ください。誤った方向で取り付けますと破損の恐れがあります。
正しい取付方向につきましては「8-4-5 キクナット取付方向」をご参照ください。
5 ギャップ〔g〕が適正ギャップ範囲内であるかスキミゲージなどで確認する。
6 ④ファン組の溝に近い⑦キクナットの歯を溝に合わせて折り曲げる。
7 ⑫ファン固定ネジを締め付ける。 ＊ファン固定ネジの締付トルク：2.3～3.0N･m
8 ⑨ファンカバーを取り付け、⑩ファンカバー固定ネジを締め付ける。 ＊ファンカバー固定ネジの締付トルク：1.6～3.0 N･m

8-4-5 キクナット取付方向

キクナットの取付方向は下図の通りです。

【重要】キクナットを外してしまった場合、取付方向にご注意ください。誤った方向で取り付けますと破損の恐れがあります。